

2015年3月期 決算説明会

株式会社 **メルコホールディングス** (6676)

2015年4月27日

本日の内容

- 1.2015年3月期 決算概要
- 2.重点取組みのご報告
- 3.2016年3月期 業績見通し
- 4.メルコグループのご紹介
- 5.中長期的な経営戦略

2015年3月期 決算概要

はじめに

●金融事業の営業開始

前期より営業開始に向け準備を進めておりました金融事業において無事に営業を開始し、「森の経営」を強化していく体制が整いました

●セグメント変更の案内

前期第2四半期より、企業活動の実態および今後の事業展開に即した経営情報の開示を行うため報告セグメントの区分を従来の「周辺機器」1区分から「周辺機器」「サービス」「金融」の3区分に変更しました

2015年3月期 決算のポイント

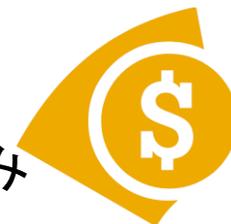
1. 周辺機器部門が消費者動向等の影響で減収

周辺機器部門は、消費税増税後の個人消費の低迷が影響。海外では低収益製品の販売抑制が影響し減収



2. 高付加価値品の投入、販管費削減が奏功し増益

高付加価値製品の販売強化等による粗利率の改善、全社取組みによる販管費削減により増益



3. 産業用機器市場の開拓とサービス事業の拡大

“(株)バッファローメモリ”がメモリカテゴリの収益性改善に貢献し産業用途ストレージメーカーである“(株)バイオス”を買収
“アパートWi-Fi”導入実績が100棟を突破し、本格普及期へ



2015年3月期 連結決算P/L

売上高 : 金融部門が順調に立ち上がったものの、周辺機器部門の売上減の影響により減収

営業利益: 粗利の改善や販管費削減、金融事業開始により増益

	1403期 (億円)	1503期 (億円)	前期比	
			増減率(%)	増減額(億円)
売上高	1,012	826	▲18.4	▲186
営業利益 (率)	28 (2.8%)	35 (4.2%)	24.9	7
経常利益 (率)	36 (3.5%)	45 (5.4%)	24.6	9
当期純利益 (率)	21 (2.1%)	32 (3.9%)	49.6	11

2015年3月期 部門別連結売上高

周辺機器：個人消費低迷の影響と海外の低収益製品の抑制で減収

サービス：代行設定サポート事業にて受託件数が減少し微減

金融：当初計画どおりの結果

	1403期 (億円)	1503期 (億円)	前期比	
			増減率(%)	増減額(億円)
周辺機器	987	791	▲19.9	▲196
サービス	24	23	▲5.4	▲1
金融	—	11	—	11
合計	1,012	826	▲18.4	▲186

2015年3月期 部門別連結損益

周辺機器：原価低減や営業努力及び販管費削減が奏効し増益

サービス：サービス単価の高い“アパートWi-Fi”の拡大で微増

金融：当初計画どおりの結果

	1403期 (億円)	1503期 (億円)	前期比	
			増減率(%)	増減額(億円)
周辺機器	25	29	18.4	4
サービス	3	3	0.7	0
金融	▲0	5	—	5
計	27	37	37.0	10
消去	1	▲2	—	▲3
合計	28	35	24.9	7

2015年3月期 カテゴリ別売上高分析

増収
11億円

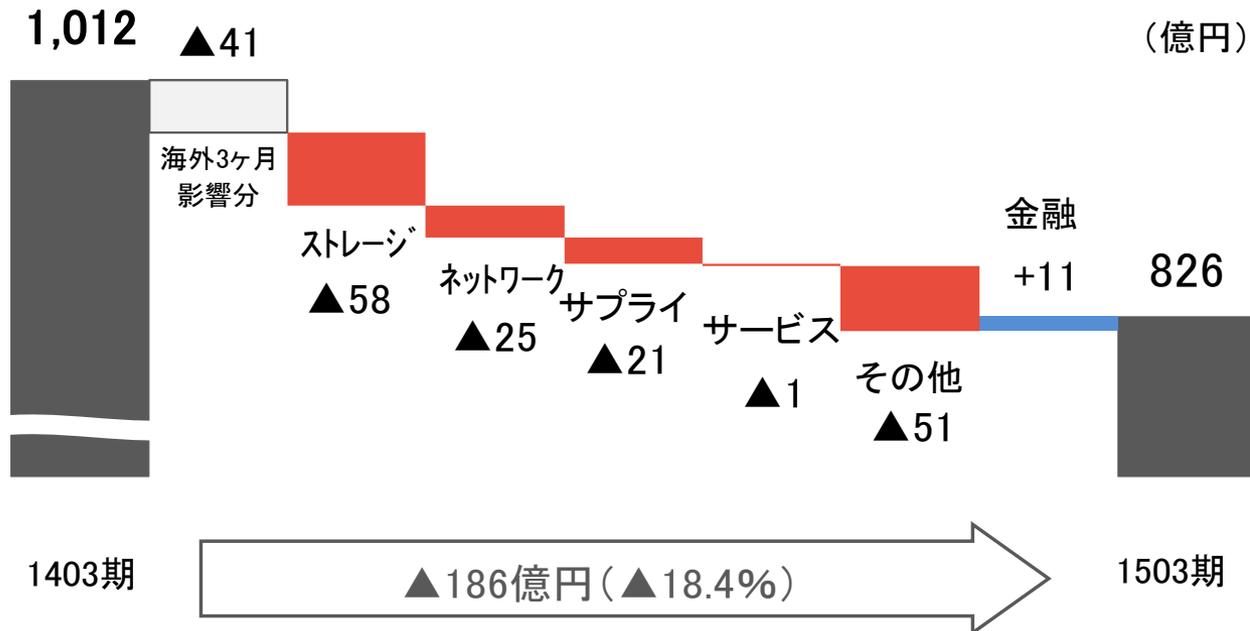
金融事業の開始に伴う売上増

減収
197億円

国内：消費税増税後の消費低迷に伴う売上減

海外：海外子会社決算期変更の影響(▲3ヶ月分)

低収益製品(主に外付けHDD)の販売抑制

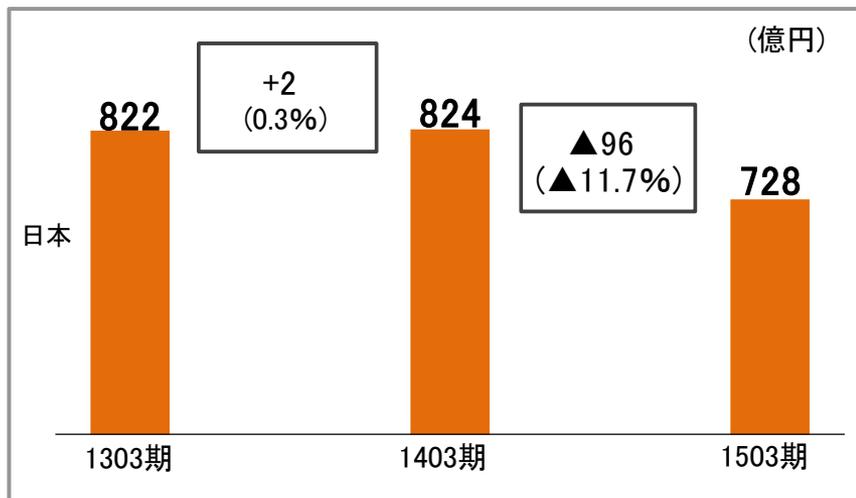


2015年3月期 地域別売上高推移

単位: 億円	日本	北米・中南米	欧州	アジア・オセアニア	合計
売上高 (前期比)	728 (▲11.8%)	45 (▲30.1%)	32 (▲57.1%)	21 (▲56.5%)	826 (▲18.4%)

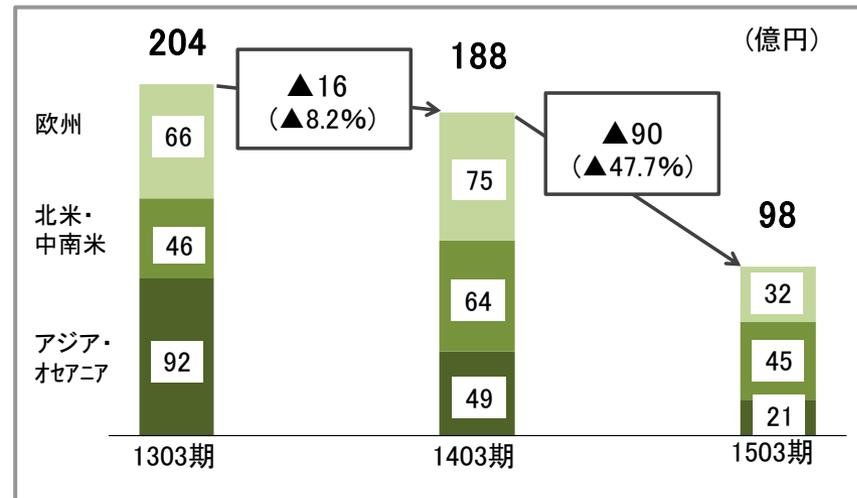
<日本>

個人消費の低迷に加え、WindowsXP駆け込み需要後の反動減により減収



<海外>

決算期の変更(前期比▲3ヶ月分)、低収益製品の販売抑制により減収



連結決算 B/S

単位:百万円	1403期末	1503期末	差異
流動資産	63,810	65,579	1,769
現金及び預金	9,561	8,404	▲1,157
受取手形及び売掛金	12,546	13,844	1,298
棚卸資産	10,188	8,487	▲1,701
その他の流動資産	31,515	34,844	3,329
有形・無形固定資産	2,255	1,910	▲345
投資その他の資産合計	1,410	1,524	114
資産合計	67,475	69,015	1,540
流動負債	22,179	21,276	▲903
支払手形及び買掛金等	15,336	14,762	▲574
未払法人税等	1,127	372	▲755
その他の流動負債	5,716	6,142	426
固定負債	2,224	2,373	149
負債合計	24,403	23,650	▲753
純資産合計	43,071	45,364	2,293
負債純資産合計	67,475	69,015	1,540

重点取組みのご報告

重点取組みのポイント

1. 粗利率改善の取組み

高付加価値製品の投入と原価低減活動の継続実施



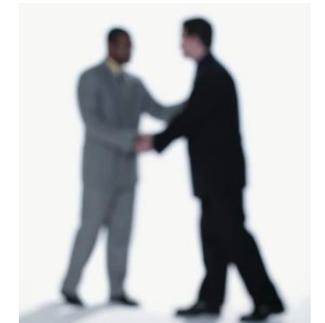
2. 経営力強化への取組み

ロスコスト及び部門経費の削減、製品供給体制の強化
適正在庫金額の管理等、経営力強化を図る



3. 法人注力とサービス事業の取組み

“(株)バッファローメモリ”、“(株)バイオス”の産業機器向け
ビジネスの強化、“(株)バッファロー・IT・ソリューションズ”
のサービス事業拡大を図る



1.粗利率改善の取組み

高付加価値製品の投入と原価低減活動を開始

高付加価値製品の投入

■ 個人向け



高速無線規格
11ac対応無線LAN



DLPAリモート
アクセス対応
NAS



「SeeQVault」対応
テレビ・レコーダー用
HDD



クリック音が静かな
「静音マウス」

■ 法人向け



「ウイルスチェック機能」搭載
ビジネス向けNAS



バックアップ専用NAS
「EasyStation」

原価低減活動を継続

円安対策を重点課題と捉え、
ビジネスユニット・開発・生産の
三位一体、且つ、パートナー企
業を巻き込んだ原価低減活動
を促進

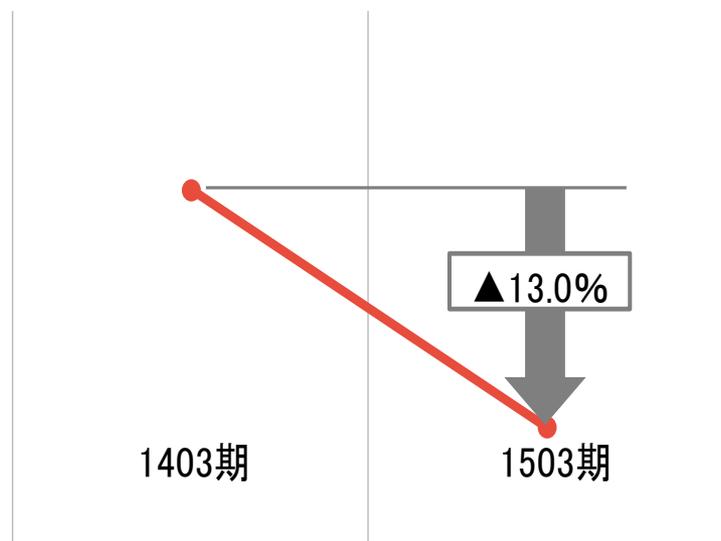


2.経営力強化への取組み

ロスコスト及び部門経費の削減、製品供給体制の強化、適正在庫金額の管理等、経営力強化を図る

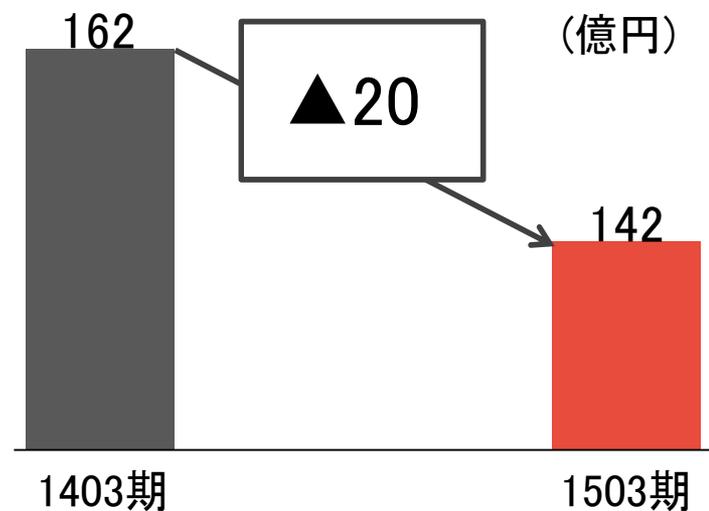
ロスコストの徹底削減

在庫補償・評価損・廃棄損の削減で前期比13%（約8億円）減



販売管理費の徹底削減

部門経費の見直しを行い、前期比約20億円減



3.法人注力とサービス事業の取り組み

“(株)バッファローメモリ”、“(株)バイオス”の産業機器向けビジネスへの注力と“Wi-Fiサービス事業”の拡大で収益力強化を図る

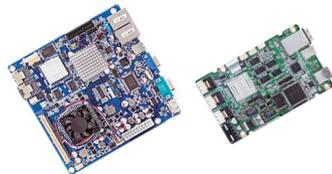
バッファローメモリ

産業機器向けメモリ、フラッシュ製品の導入実績が増加し、メルコグループに利益貢献するフェーズへ



バイオス

バッファローNAS製品との技術・部品の共通化、補完によりシナジー効果を最大限に発揮させる



バッファロー・IT・ソリューションズ

導入実績100棟(約1,000戸)を超え、本格普及期に入った“アパートWi-Fi”をさらに加速させつつ、新たに始めたホテル事業者向けのWi-Fiルーター設置サービス等、新規事業にチャレンジ



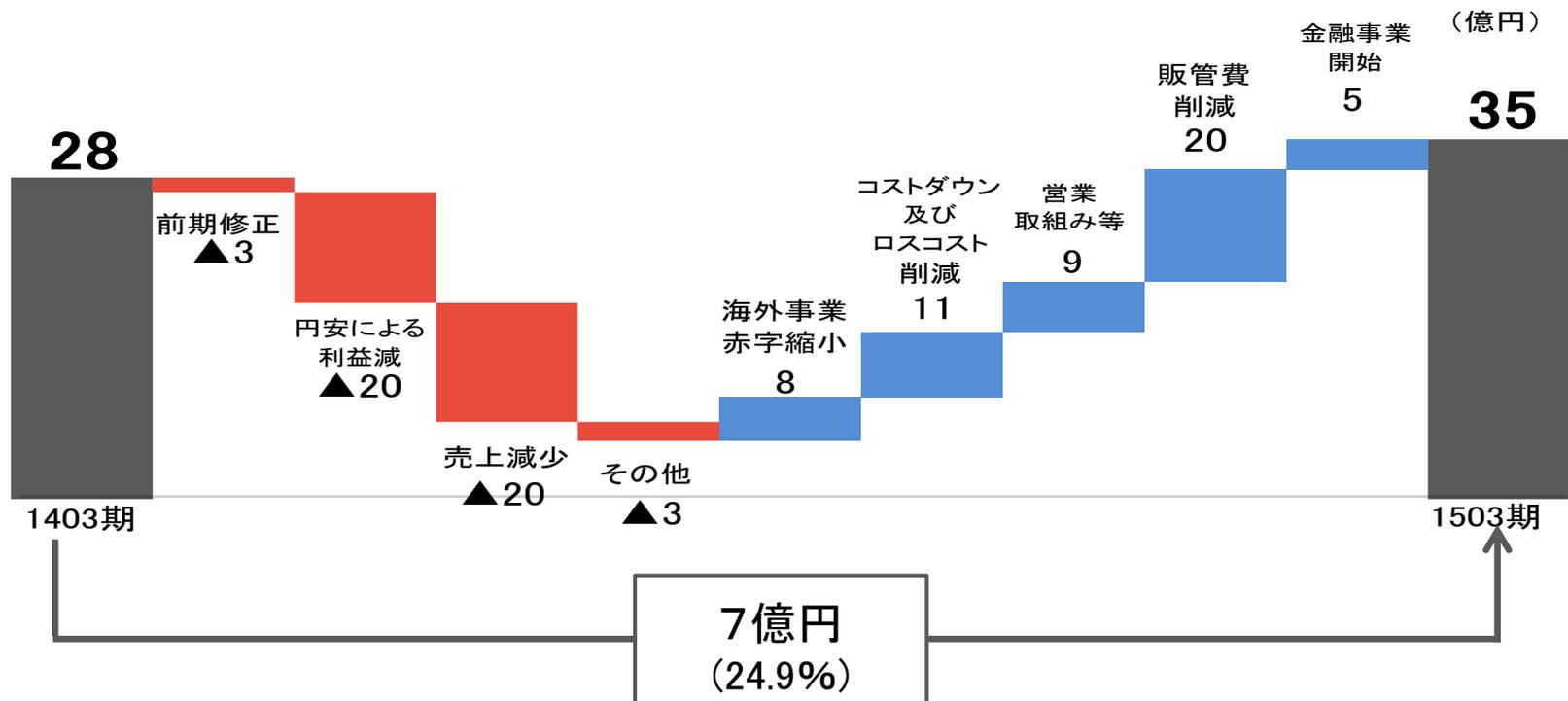
営業利益分析

減益
46億円

国内個人消費低迷の影響による売上減少、円安進行による影響で利益減少

増益
53億円

販管費・ロスコストの削減、海外オペレーションの強化
営業取組み及び金融事業の開始により利益増加



2016年3月期 業績見通し

2016年3月期 年間業績見通しのポイント

1. 既存ビジネスの効率化とチャレンジで増収増益

売上高 : 870億円(前期比:5.4%)

営業利益: 48億円(前期比: 36.7%)



2. 為替は引き続き円安傾向を見込む

為替レートは、上期1ドル=123円、下期1ドル=125円を想定

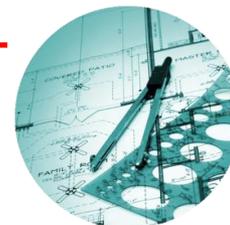


3. 市況・消費傾向は前期比較で回復を予想

前期に発生した“消費税増税後の消費の落ち込み”

“Windows XP特需後の反動減”等のマイナス影響が、今期は前期より軽微と予想

また、TV本体も底を打ち、録画用外付けHDDの重要が回復していくと予想



2016年3月期 年間業績見通し

売上高 : 市況の良化とマーケットシェアの堅持により増収

営業利益 : 高付加価値製品拡販の継続と海外の収益力改善により増益

	1503期 実績 (億円)	1603期 見通し (億円)	前期比	
			増減率(%)	増減額(億円)
売上高	826	870	5.4	44
営業利益 (率)	35 (4.3%)	48 (5.5%)	36.7	13
経常利益 (率)	45 (5.4%)	56 (6.4%)	25.2	11
当期純利益 (率)	32 (3.8%)	36 (4.1%)	13.7	4

2016年3月期 部門別連結売上高

周辺機器 : マーケットシェアの堅持と高付加価値製品の投入で増収
サービス : “アパートWi-Fi”の拡大と新規ビジネスの取り組みで増収
金融 : 前期同程度の売上計上見込み

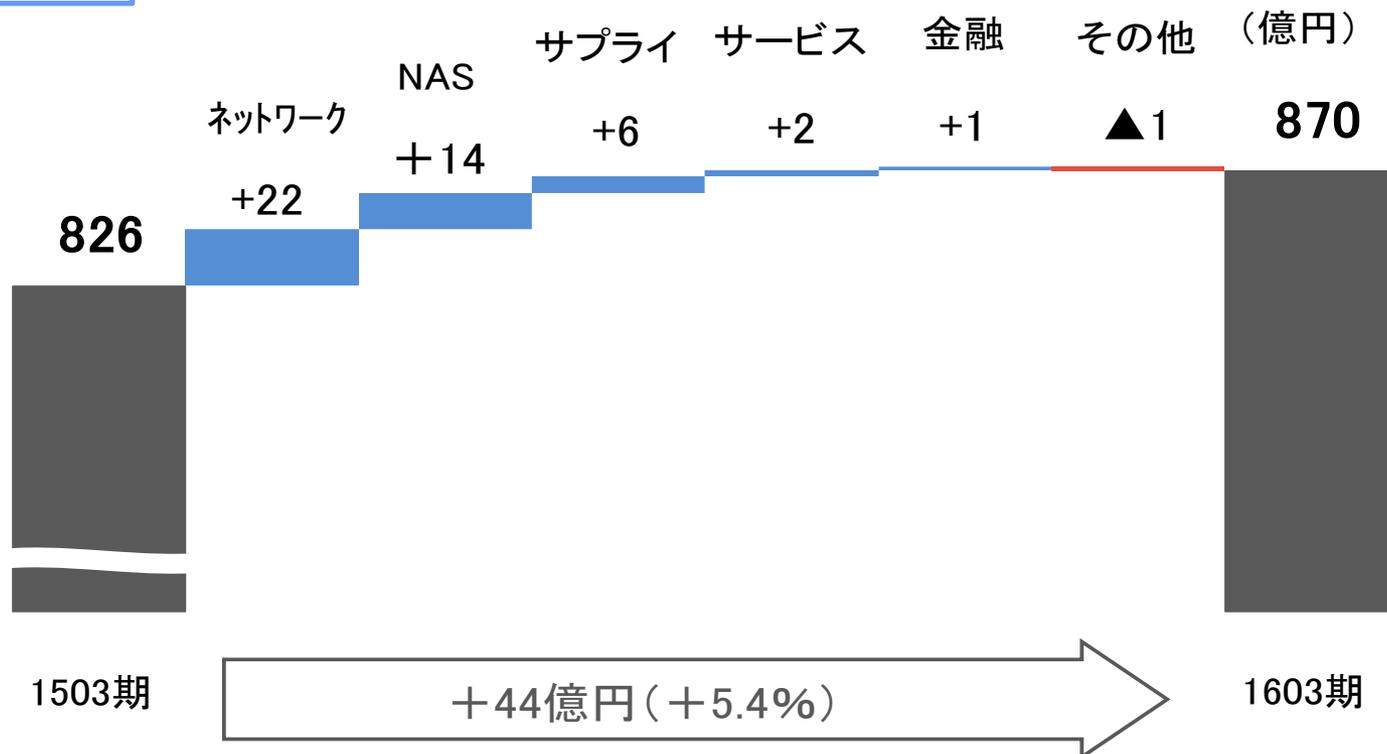
	1503期 実績 (億円)	1603期 見通し (億円)	前期比	
			増減率(%)	増減額(億円)
周辺機器	791	832	5.1	41
サービス	23	25	8.7	2
金融	11	12	9.1	1
合計	826	870	5.4	44

2016年3月期 カテゴリ別売上高分析

前期差44億円の増収、主な要因は以下の通り

主な増収要因

ネットワーク : 新たに拡大している中継機市場シェアNo1を維持
 NAS : マイグレーション機能搭載によるリプレイス喚起
 競争力のある製品の投入、バイオス社売上の寄与

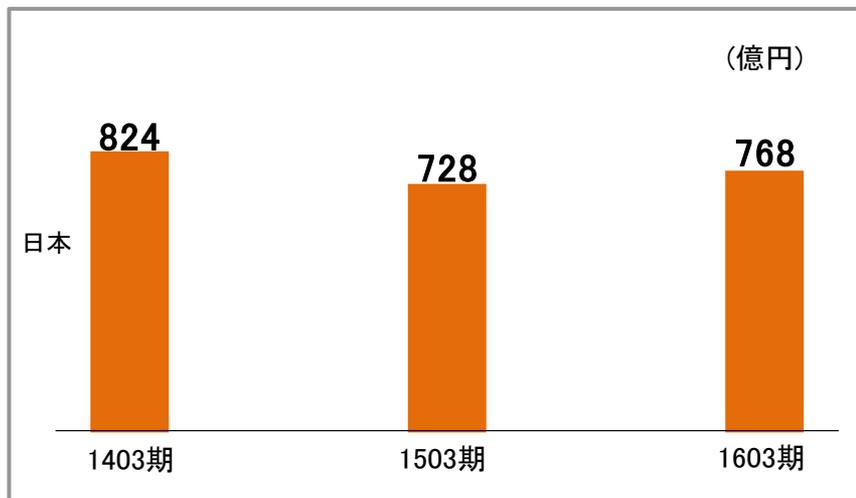


2016年3月期 地域別売上高見通し

単位: 億円	日本	北米・中南米	欧州	アジア・オセアニア	合計
売上高 (前期比)	768 (5.4%)	48 (7.3%)	31 (▲2.5%)	23 (9.8%)	870 (5.4%)

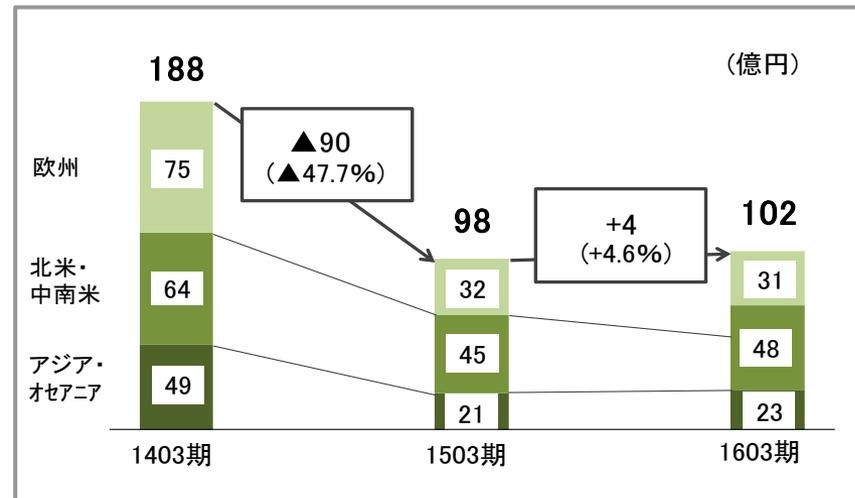
<日本>

好調なネットワークと法人向けNASの拡販により、増収を見込む



<海外>

経営力改善、法人向け高付加価値製品へのシフトが進み増収へ



設備投資・減価償却費・研究開発費

単位：百万円		1303期 実績	1403期 実績	1503期 実績	1603期 (見通し)
設備投資		866	1,385	432	419
有形		483	420	306	370
無形		382	964	126	50
減価償却費		1,318	862	774	684
有形		569	462	343	350
無形		749	399	431	334
研究開発費		3,311	2,810	2,517	2,337

メルコグループのご紹介

メルコグループ

メルコホールディングス 純粋持株会社

バッファロー

BUFFALO

中核となるブランドメーカーで
デジタル家電・パソコン周辺機器の
総合メーカー

バッファローメモリ

電子部品・電子応用製品の開発・販売

バイオス

ストレージ関連製品の開発・製造・販売

シー・エフ・デー販売

CFD

ハイレベルな個人ユーザー向け

バッファローダイレクト

インターネットを活用した機器の販売

メルコフィナンシャルホールディングス
グループにおける金融事業の統括管理

バッファロー・IT・ソリューションズ

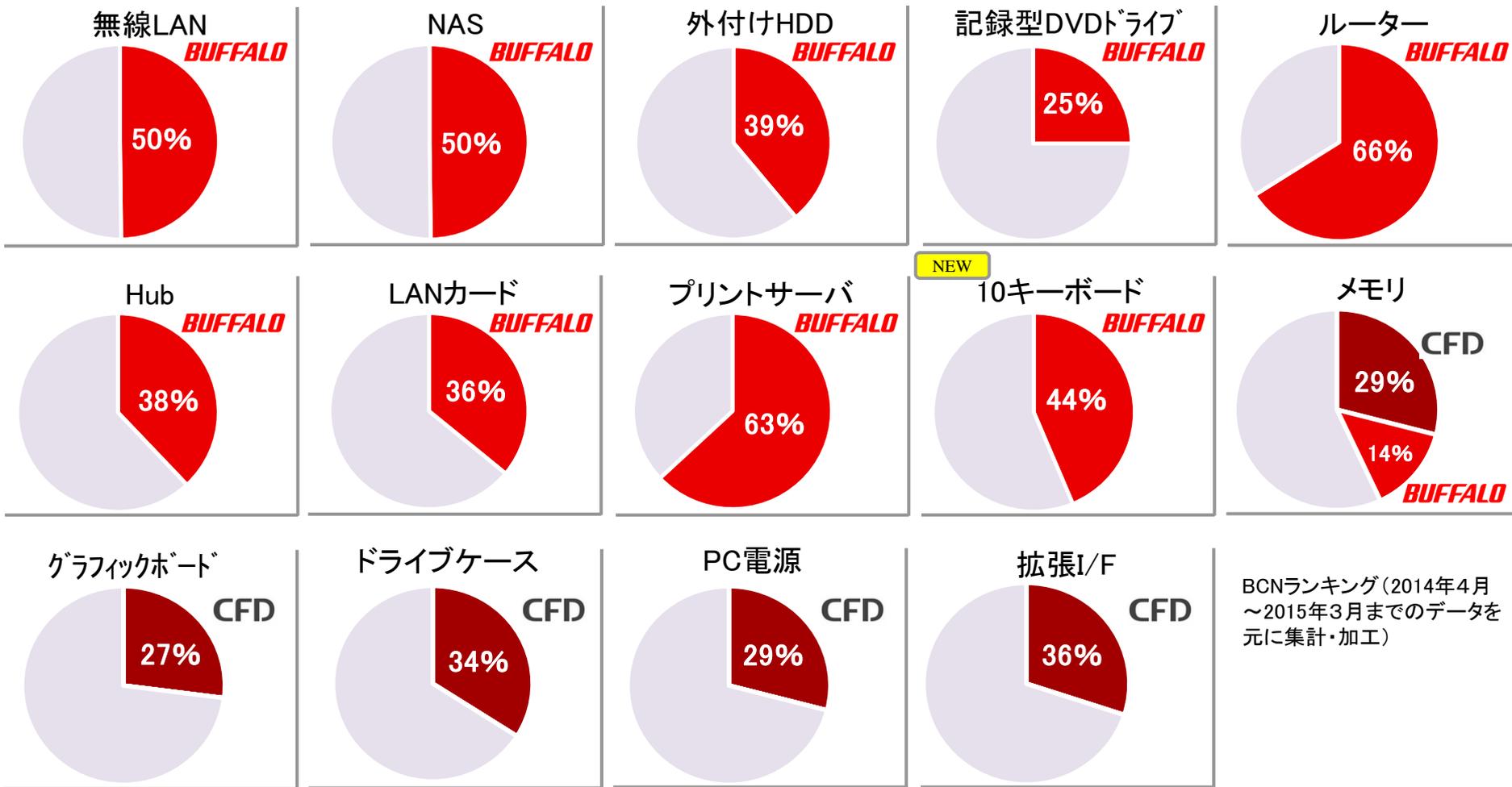
BUFFALO™
IT Solutions

納入設定・設置・保守サービス

[海外] Buffalo Americas 他

法人向けNAS・無線LANなどの販売

高い店頭シェアを誇り、多くの製品がシェアNo.1

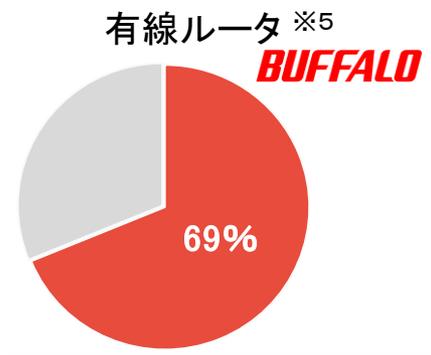
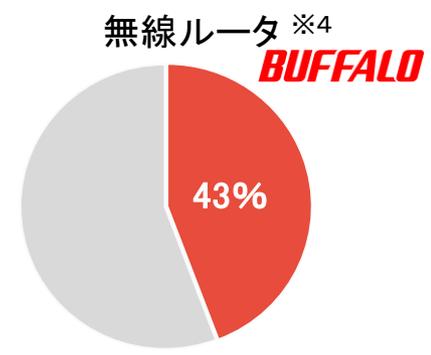
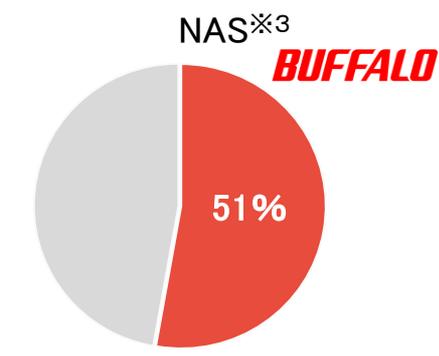
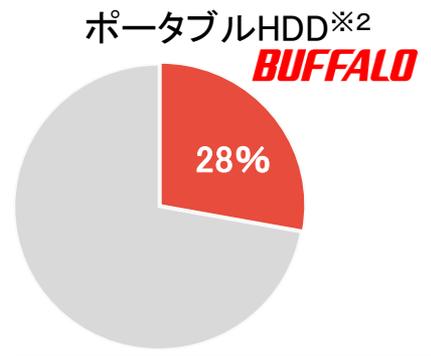
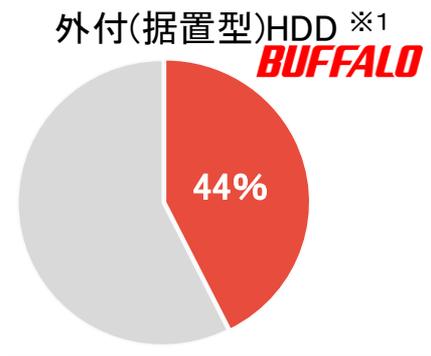
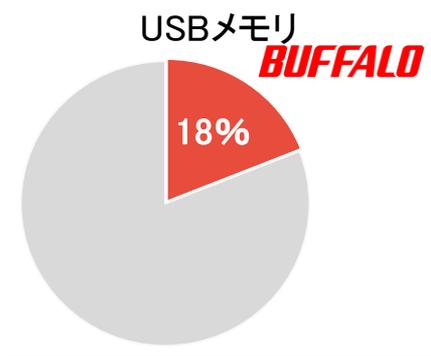


BCNランキング(2014年4月
~2015年3月までのデータを
元に集計・加工)



BCNが実施する「BCN AWARD」において、バッファローで9部門、CFD販売5部門の計14部門で2014年1月~2014年12月集計のメーカー別販売数量シェア第1位であることを認定されました

GfK Japan 調べでも高い店頭シェアを誇ります



※1: 外付(据置型)HDDは、『HDD』より「外付けタイプ」から「据置」を抽出
 ※2: ポータブルHDDは、『HDD』より「外付けタイプ」から「ポータブル」を抽出
 ※3: NASは、『HDD』より、「LANインタフェース」から「ワイヤード、ワイヤレス、他LAN」を抽出
 ※4: 無線ルータは、『ルータ』より「伝送方式」から「共用」を抽出
 ※5: 有線ルータは、『ルータ』より「伝送方式」から「有線」を抽出

全国の有力家電量販店販売実績を集計するGfK Japan調べ(2014年4月～2015年3月までのデータを元に集計) ※メーカー別販売数量シェア



GfK Japanが実施する「GfK Certified」において、HDD、ネットワーク、USBメモリで2014年1月～2014年12月集計のメーカー別販売数量シェア第1位であることを認定されました

中長期的な経営戦略

PCレス・IoT時代を見据えた中長期的な経営戦略

総合周辺機器メーカーとして培ってきたテクノロジーやノウハウそして強固なブランドイメージを足掛かりとして、到来するPCレス・IoT時代においても人々の豊かな社会生活を実現する製品・サービスを提供してまいります

PCテクノロジーを応用した新規製品カテゴリの創出

IoT時代を見据えたネットワーク製品の開発と普及

Wi-Fiサービス事業の拡大

——— 強固な事業ポートフォリオの構築 ———

PCテクノロジーを応用した新規製品カテゴリの創出

伝送品質を極めた、ハイレゾ・オーディオNAS

一切の妥協を排し、持てる技術のすべてを集約
マスターサウンドを楽しむための究極のオーディオ専用機器



<評論家・販売店・オーディオファンの方の生の声(例)>

“従来のNASからすると、まさに「音の革命だ」と快哉を叫びたい音だ。” 評論家A氏

“このNASは、さすがに違います。ここまで徹底すればこういう音がする、と言う見本の様なNAS。” 販売店B氏

“(。Д ; 三 ; Д) マジ!?音が違います。不思議なことに音の解像度が違うんです。” 一般C氏

すべてのおもいでをここに「おもいでばこ」

すべての
おもいでをここに。
振り返るひとときと共に。

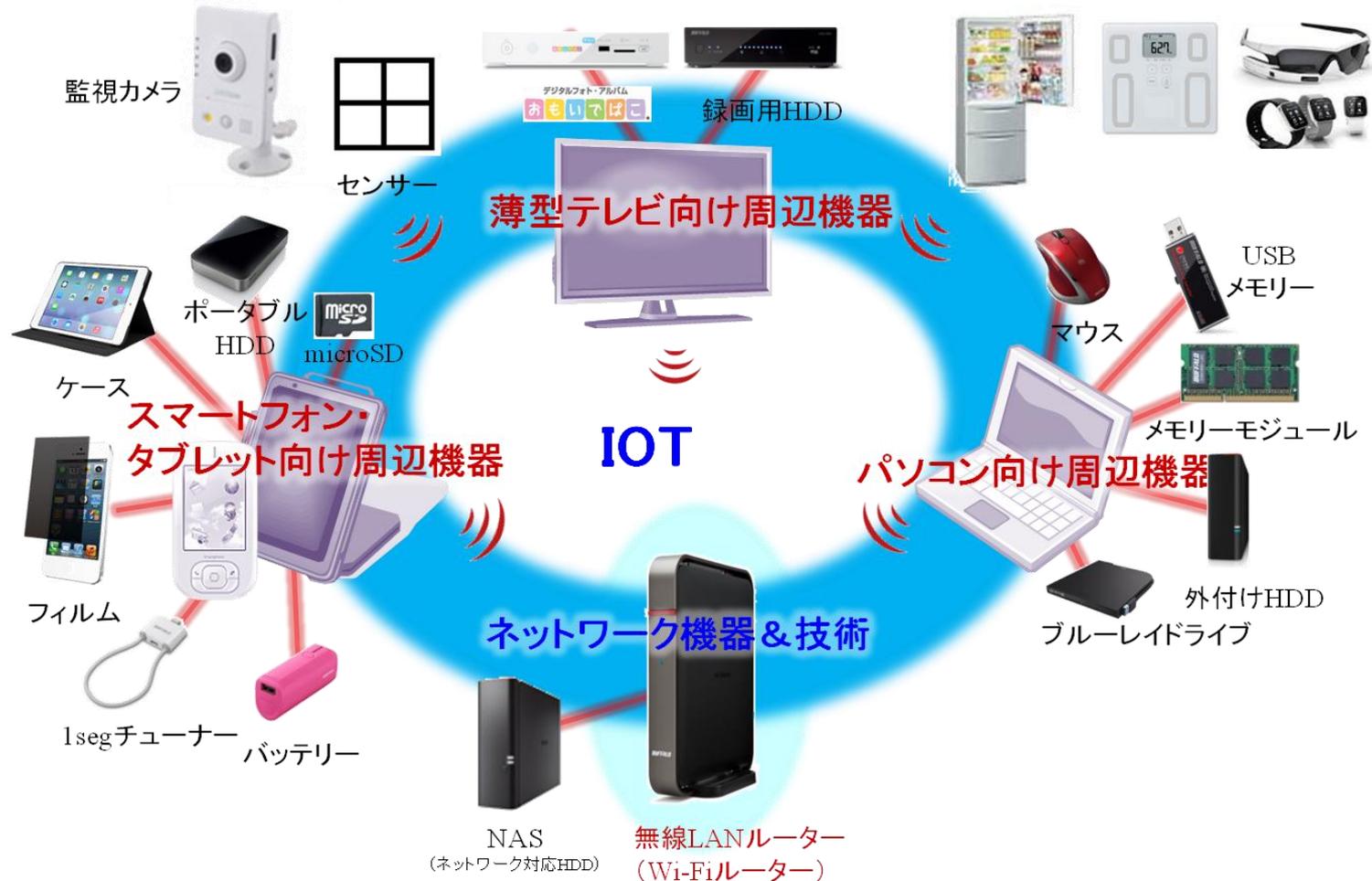


撮影後の「取り込み」、「整理」、「鑑賞」を簡単に

IoT時代を見据えたネットワーク製品の開発と普及

IoT時代のインフラを強固かつ柔軟に支える企業に

当社の強みである無線ネットワーク技術、ブランド力、家庭・オフィスでの実績を最大限に活かし、来るべきIoT時代のネットワークインフラを強固かつ柔軟にサポートする製品・サービスの開発を進めてまいります



Wi-Fiサービス事業の拡大

賃貸物件一棟まるごと無線化「アパートWi-Fi」

オーナー様の空室が埋まらない悩みを解消し、入居者様には通信費が節約できる嬉しい物件に変えるサービス



「アパート Wi-Fi」とは

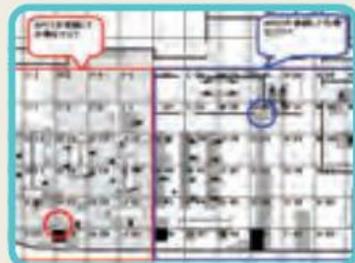
1本の光回線を同じアパートにお住まいの方でWi-Fiにて共有し、インターネットをご利用いただくサービスです。



事前調査・設置から保守までトータルでサポート



事前調査



無線LAN設計



設定・設置・工事



保守

<ご契約オーナー様の生の声(例)>

“Wi-Fiの無料サービスは既存の入居者様にも喜んでいただけただけで、更新時期の3ヶ月前に設置工事のお知らせをしたところ、入居者全員が更新となりました。” オーナーA氏

“Wi-Fi付きですから、同じ家賃の他物件と比べてかなり有利になります。そのおかげかどうかはわかりませんが、空室がすべて埋まりました。” オーナーB氏

森の経営の強化を図り、グループ収益力強化へ

永続的な成長といかなる外部環境の変化にも耐えうる強固な事業ポートフォリオ構築を目指して、以下の事項を当面の経営課題として認識し対応にあたっております

- ①創業40周年を2015年に迎えるにあたり、創業者である牧誠が築いた事業基盤の円滑で混乱のない承継を完了すること
- ②デジタル家電およびパソコン市場の動向に過度に依存しないグループ事業ポートフォリオを早期に構築すること
- ③IoT時代に向けた製品開発、販路開拓、サービス提供を推進するための社内人材を育成すること
- ④経営理念であるメルコバリューのより一層の浸透に努め、グループの一致団結を推進すること



メルコバリュー

■千年企業

私たちは、先人の教えを真摯に学び活用し、常に未来を見据え、メルコバリューを共有する全ての人たちとともに、メルコグループの永続的な成長を目指します

■顧客志向

私たちは、常にお客様の視点に立ち、より良い社会生活の実現に資する商品・サービスを提供し続け、私たちの知恵と努力が社会の発展に寄与することを喜びとします

■変化即動

私たちは、世の中の変化に目をそむけず、誤りに気付いた時は引き返す勇気を持ち、常に自己研鑽に励み、自己変革を目指して行動します

■一致団結

私たちは、フェアアンドオープンで、高い志と情熱を共有する人たちと共に、いかなる困難をも乗り越え、一丸となって目標を達成します

本資料に関するご注意等

本資料の作成は、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。

本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績見通しならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となることをご承知おきください。

＜お問合せ先＞

株式会社メルコホールディングス 管理部

TEL:050-5830-8865 / FAX:050-5830-8867

E-mail: ir@melcoinc.co.jp